

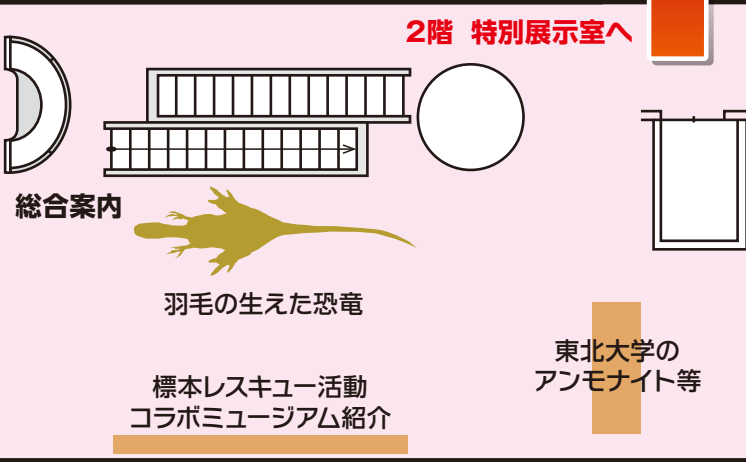
恐竜大研究

-ティラノサウルス類の進化-

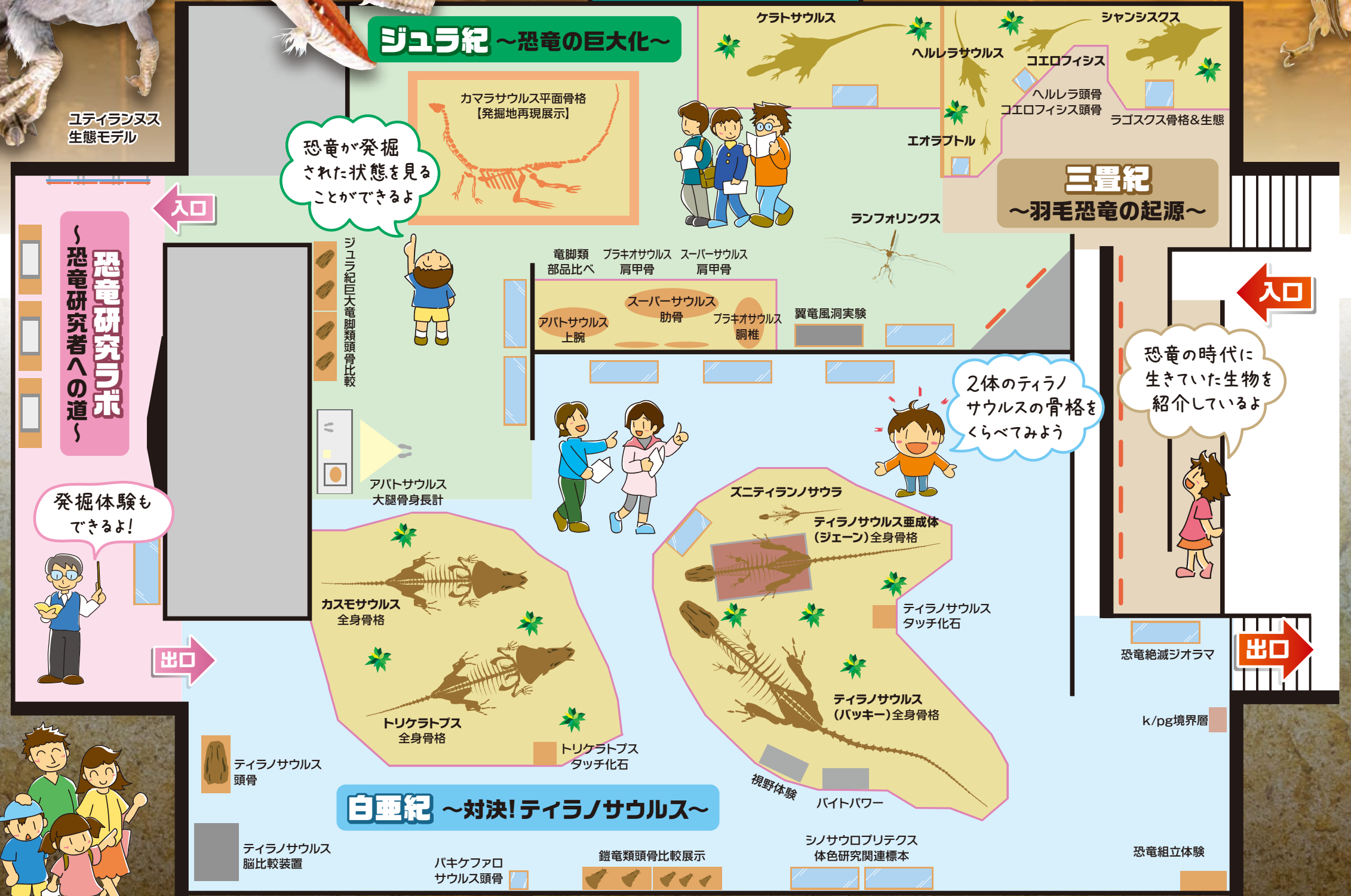
恐竜は中生代という時代に繁栄した生物です。謎の多い生物ですが、化石などを研究することにより、その生きていたようすや進化について様々なことが分かってきています。今回の特別展では、恐竜の骨格標本や生態復元モデルを展示し、骨格や羽毛の進化などの研究成果を紹介しています。特に「恐竜」の中でも、特に人気のあるティラノサウルスに焦点をあて、ティラノサウルス類の大型化の研究に重要な役割をもつ亜成体（成体になる前の段階）の全身骨格標本も紹介しています。

特別展示室では、中生代を「三畳紀」「ジュラ紀」「白亜紀」と時代の古い順に分け、3つの時代ごとに解説します。エントランスホールでは、羽毛を持っていた恐竜の生態復元モデルを展示しています。恐竜が生きていた世界を思い浮かべながら、それぞれの展示を楽しんでみてください。

3階 エントランスホール



2階 特別展示室



地史年表

	現代	
新生代	第四紀	竜の口層を含む仙台層群を形成 約700万年前 人類の祖先出現
	新第三紀	
	古第三紀	ホニュー類の発展が始まる 約6500万年前
中生代	白亜紀	鳥類以外の恐竜など多くの種類の生物が絶滅する ティラノサウルスの出現
	ジュラ紀	現在より高温多湿なため生物の多様化、大型化が進んだ
	三畳紀	約2億3000万年前 最初の恐竜が出現
古生代	ペルム紀	約2億5000万年前 三葉虫などの多くの種類の生物が絶滅をする
	石炭紀	ハチュウ類が出現
	デボン紀	両生類の出現
	シルル紀	植物が陸上に進出
	オルドビス紀	
	カンブリア紀	急激に生物の多様化が起きた 約5億7000万年前
先カンブリア紀	原生代	
	太古代	約35億年前 地球上に生命が誕生 約46億年前 地球誕生

※「ティラノサウルス」の表記に関しては、学名「Tyrannosaurus」に近い表記の「ティランノサウルス」の他、「チラノサウルス」「チランノサウルス」などが使われています。本展では一般に広く知られている「ティラノサウルス」と表記をしています。